

**福井町長**

現在、臨時の方を雇用し、調理を行っています。昨年度改正されました労働契約法の趣旨からすれば、好ましい雇用形態ではありません。このようなことから調理部門を民間に委託することにより、雇用の改善を図るとともに大幅な経費が削減できると考えています。

**木村教育次長**

人件費の抑制や調理員の研修制度が整った民間企業の技術を取り入れることで質の高い学校給食が提供できると考えています。

法律違反をして雇用契約は当然しませんし、派遣法の趣旨を順守して労働者が不利にならないよう請負契約に基づいて業務を進めていきます。

食育については、今までどおり学校栄養教諭が行いますので、食育教育の質が落ちることはありませんし、むしろ民間企業の食育推進事業のノウハウを導入することにより、今以上の効果が得られると期待しています。

す。

昨年度実績からいうと、400から600万円の削減になると考えています。町議は、町民の代表です。個人的な考えで業者選定を行うことはいないと考えています。

**その後の物産館の取り組みは**

**藤元議員**

牟岐町の活性化を考えた場合、物産館の設置については必然性があり、税金の無駄遣いという指摘は当たらないし、町興しの経費だと考えるべきです。町興しという課題で1年や2年で見える成果を求めるのはどうかと思います。そんなに簡単なことなら今までの行政がとつくの昔に成果を上げています。今大切なことは、芽生え始めた芽を大事に育てることです。6月議会で今後の方針を決めたい旨の発言があったが、どうなったのか。

**福井町長**

収益の割に家賃が高く、運営の目的が果せていないため、今年度中にできるだけ経費の削減から移転したいと考えています。

スタッフ、行政で事業の総括・今後の取り組みについて協議を行い、問題点を全員で共通認識しました。今後は、企画から事業設計、実施までの密度の高い連携をもってあたること、事業効果を引き出したいと考えています。

**健康管理センターの公募の結果と今後は**

**横尾 政明 議員**

募集説明会への参加申し込みがなかったのは、ホームページのみの発信だけで、受身であったからと思うが、担当者や町長自らが優良企業に出向き、施設のPRや説明をする必要があるのではないかと。まさにトップセールスをしていかないと前進しないのではないかと。町内外の企業を問わず、PRやセールスに努めたい。打開策として、県内大手企業を中心にセールスし、それでも購入希望者が見当たらない場合は、県外業者へも働きかけたい。

**再生会議の参加者が少ないが**

利用目的を限定せずに再公募しているが、現時点でも応募はなく、周知も十分であり、今後は積極的に

**横尾議員**

タウンミーティングの場でもある再生会議の参加者

が、当初に比べ減少している。特に一次産業従事者の参加が見られない。町の再生、雇用の創出を目的とした誰でも参加できる会議なので、有意義な中身を理解してもらい、多くの人に参加を促してはどうか。また、再生会議の議事録をホームページに載せてみていいのではないかと。

**福井町長**

月2回と比較的開催回数も多く継続性があることから、有意義な内容を説いても、時間的余裕があり、牟岐町の将来に大きな危機感を持つ方ではないと参加されないと思われ。しかし、雇用の創出を諦めるべきではないので、各戸を回ってでも参加や活動の依頼をしていきたい。

ホームページの掲載についても町外の方にも発信し、参加も促したい。

**町内各施設・史跡の案内看板設置は**